

名称	令和3年度 道路講習会 (ライブ配信)		
実施日	令和3年12月10日(金)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	80名 (会員80名 (26社)、非会員一名 (一社))		

実施目的

本道路講習会は、我が国の社会経済を支える道路事業の取り組み等の理解を深めることを目的として、道路設計を担当する技術者を対象に、昨今の社会資本整備・交通政策や、最新の交通安全対策について講習する。

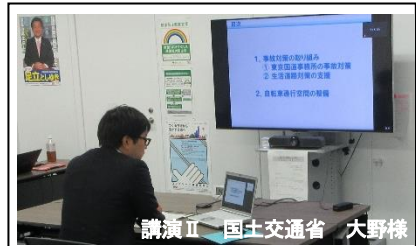
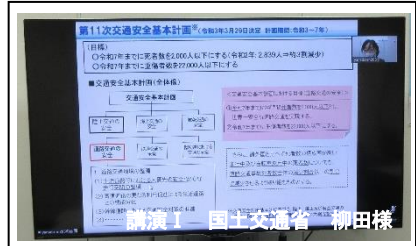
実施概要

1. 開催概要

今回で24回目となる道路講習会は、令和3年12月10日(金)13:30~16:40に下記プログラムに沿って開催した。なお、今回は昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Zoomを活用したオンライン方式の開催とした。外部より専門の講師を招き講演を頂くとともに、各公演後にはZoomのチャット機能を利用した質疑応答を行った。

●令和3年度 道路講習会 プログラム

13:30 ~13:40	講習会に関する注意事項等 主旨説明・開会挨拶	横川 委員 久保 委員長
13:40 ~14:30	講演Ⅰ「第11次交通安全基本計画、 ゾーン30プラス等の交通安全対策に関して」	国土交通省 道路局 環境安全・防災課 道路交通安全対策室 企画専門官 柳田 真由美 様
14:30~14:40	休憩 (10分)	
14:40 ~15:30	講演Ⅱ「安全・安心な道路空間の形成に向けた 事故対策の取組について」	国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所 交通対策課 課長 大野 貴史 様
15:30~15:40	休憩 (10分)	
15:40 ~16:30	講演Ⅲ「交通事故総合分析センターにおける 自動運転車事故調査分析の取組」	公益財団法人 交通事故総合分析センター 自動運転グループ 吉田 真平 様
16:30 ~16:40	講評・閉会挨拶	橋本 副委員長



2. 講演内容

①講演Ⅰ：「第11次交通安全基本計画、ゾーン30プラス等の交通安全対策に関して」

・第11次交通安全基本計画の取組として、自動車専用道路、幹線道路、生活道路といった道路の特性に応じた交通安全対策の取組について説明を頂くとともに、特に生活道路においては、通学路における事故を契機にした通学路安全対策の取組事例（ゾーン30プラスにおけるスムーズ歩道等）について講演頂いた。

②講演Ⅱ：「安全・安心な道路空間の形成に向けた事故対策の取組について」

・安全安心な道路空間の形成に向けた国土交通省東京国道事務所管内の取組として、幹線道路や生活道路の事故対策の取組（具体的対策工の紹介と効果検証結果）や、自転車通行空間整備（空間確保が困難な箇所への設置検討と整備事例）等について講演頂いた。

③講演Ⅲ：「交通事故総合分析センターにおける自動運転車事故調査分析の取組」

・自動運転車事故調査分析の取組として、我が国の自動運転レベルの現状（レベル3の実現と車両の開発状況）、自動運転に関わる交通事故の状況（車両、道路交通環境等各視点からの要因分析）、今後の実現に向けた目標（自動運転の市場化、道路交通環境の形成）等について講演頂いた。

3. アンケート結果

講習会終了後に、道路講習会内容やオンライン開催について質問するアンケートをWEB方式で実施した。

各講演内容における受講者への貢献度は、概ね高い評価を得ることができた。また、見学会の課題であった、音声や映像に関しては、ほぼ問題のない結果となった。今後の道路講習会の必要性や継続参加希望は98%程度と高い要望があり、参加方式はWEB希望が68%と高い結果となった。なお、受講料の1,000円は、約90%が妥当との回答であった。